

成果物 1-1

里親フォーラムに係る報告書

特定非営利活動法人子どもリエゾンえひめ

1. 実践内容

- (1) アタッチメント形成が必要な乳幼児期に里親委託が必要なことのほか、里親に関する新しい取り組みや各方面での最新情報等を講演いただき、パネルディスカッションではその情報を愛媛県にどう取り入れて里親支援につなげるか考えを深めるものとする。また、パネル展示等により里親制度についてわかりやすく説明を行い、広報啓発を行う。

(2) ・第 2 回子どもリエゾンえひめフォーラム(講師:奥山眞紀子氏)

テーマ「子ども中心社会での養育を考える～家庭と社会が協働して子どものニーズに応えるために～」

開催日時:2024 年 9 月 29 日(日) 13 時 00 分～16 時

会場:愛媛県医師会館 5 階 ホール(松山市三番町 4 丁目 5-3)、オンライン(zoom)

参加者:250 名(一般、里親、児童福祉・地域福祉関係者等)

・第 3 回子どもリエゾンえひめフォーラム(講師:河野洋子氏)

テーマ「大分県における家庭養育推進の取り組み～里親等委託率全国ワースト 5 からの軌跡～」

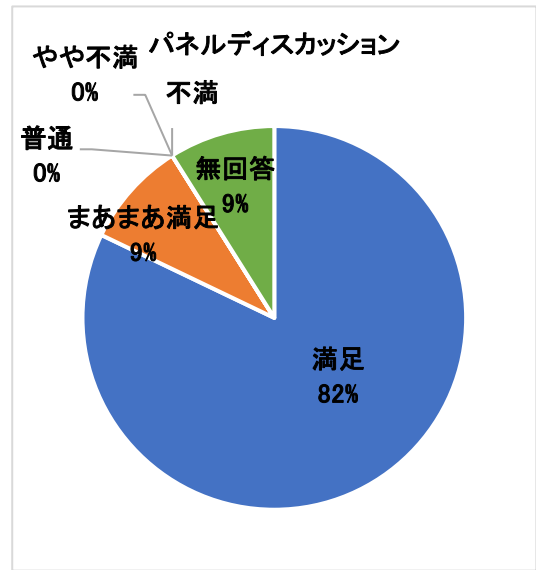
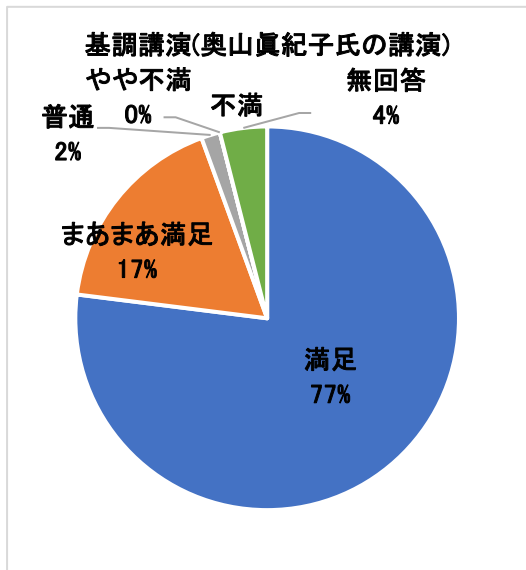
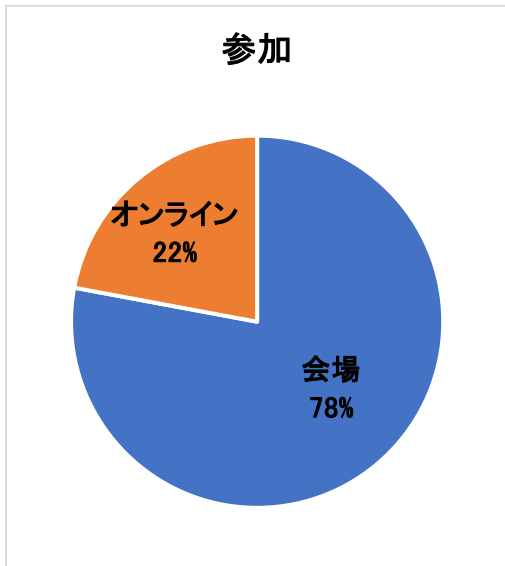
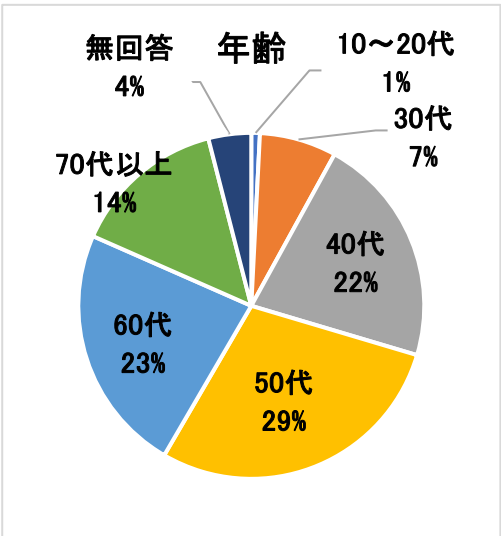
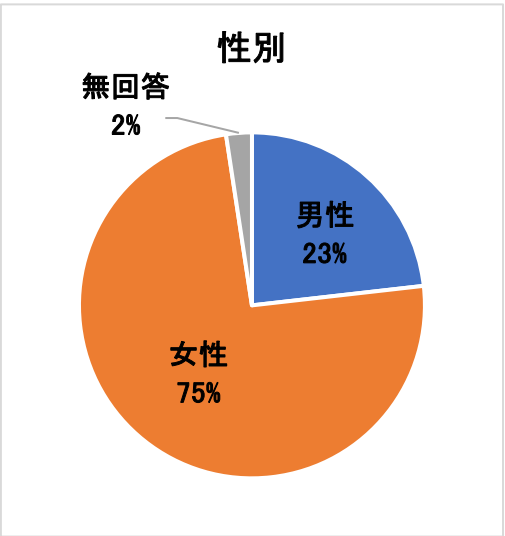
開催日時:2025 年 2 月 22 日(土) 13 時 00 分～15 時

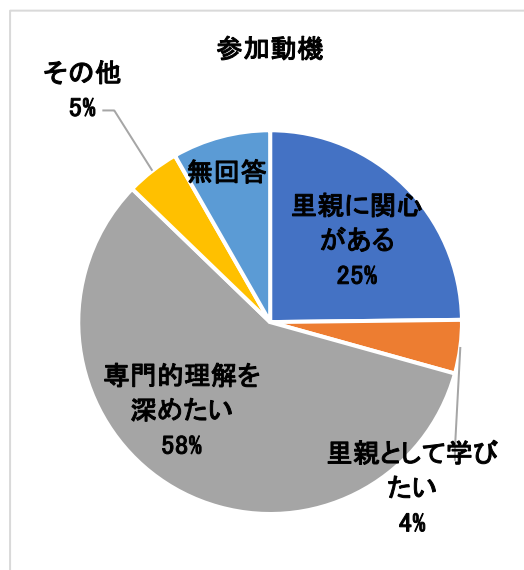
会場:河原医療大学校 8 階 講堂(松山市花園町 3-3-6)、オンライン(zoom)

参加者:110 名(一般、里親、児童福祉・地域福祉関係者等)

2. 評価(アンケート結果)

・第 2 回子どもリエゾンえひめフォーラム





(その他を選択された方の回答)

- ・様々な状況の子どもの姿を知りたい
- ・自分がどのような形でお役に立てるのか
- ・子どもの幸せを願う者として、知っておきたいと思った
- ・里親制度を広めたいと思い、知識を得るため
- ・社会的養護の授業を行っているため
- ・自分がどのくらいこの問題に関われるか探っている

(参加者の感想)

- ・実際に里親さんや里子さんの体験談が聞けるとは思ってなくて驚きだった。逆境体験について良い勉強になった。たいしたことはできないけれども何か自分でできる支援を考えなければと感じている。
- ・教育の始めは家庭であり、家庭の基本は父母にある。父母は最初の教育者であり何かの事情でいない場合は、地域が支えるべきであることがよく分かった。
- ・里子としての思い、里親の苦悩や葛藤、心に響くものがあつた。社会的な必要性とか、社会構造の問題とか、いろいろ考えさせられた。
- ・奥山先生のお話で今の”子供たち“の現状を知ることができて良かった。立川さん、大葉さんのお話は本当に胸が痛みましたがとても感動した。このフォーラムに参加して良かった。
- ・地域のコミュニティーが大切ですね。民生委員を中心に「児童委員」でもあるので何とか広げることができないだろうか。
- ・奥山先生の「時代と共に変わらないことの罪や弊害に敏感になろう」の言葉を大事にしたいと思った。パネルディスカッションでは当事者のリアルな語りを拝聴する貴重な機会としてとても良かった。
- ・里親にまつわる制度、課題が大変勉強になった。また、実際の里親家庭のお話を聞き、胸が熱くなった。地域の小児科医として里親家庭をサポートできるよう努めたいと思う。

(振り返り)

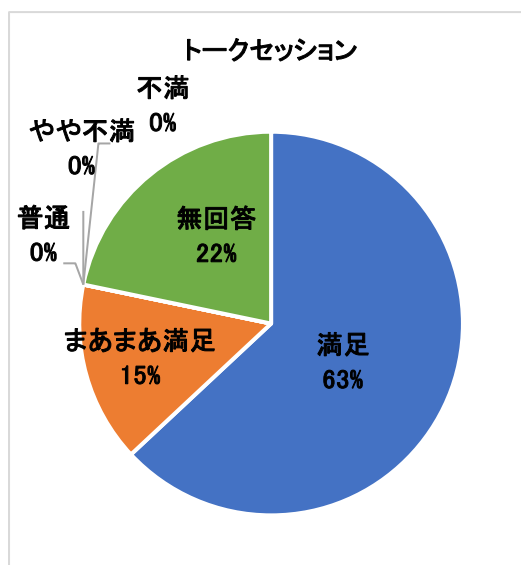
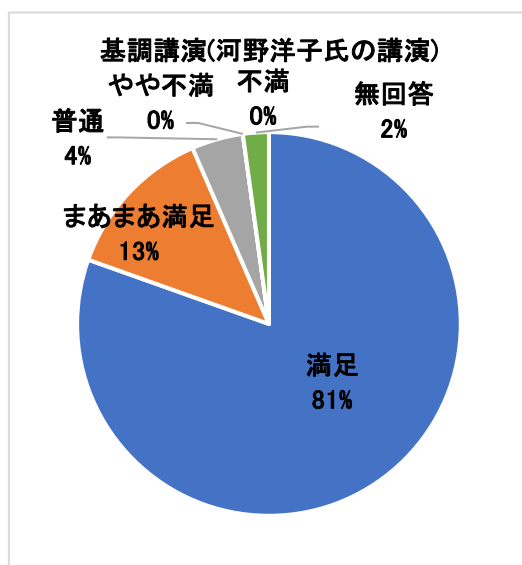
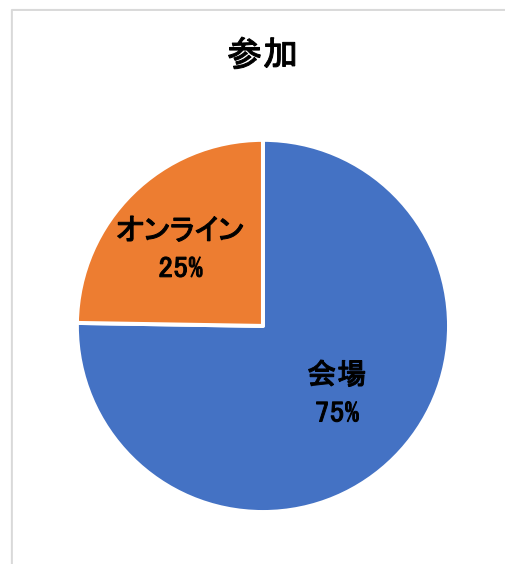
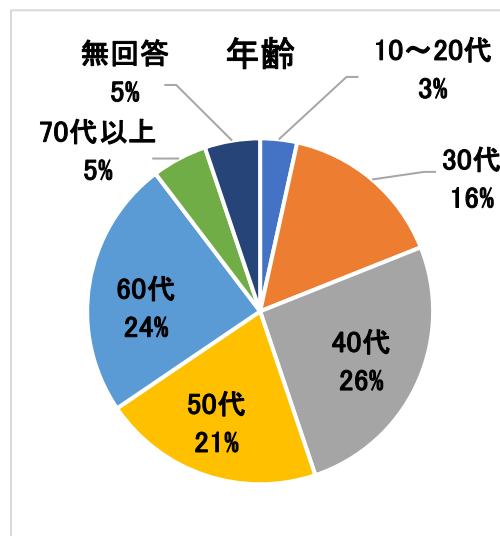
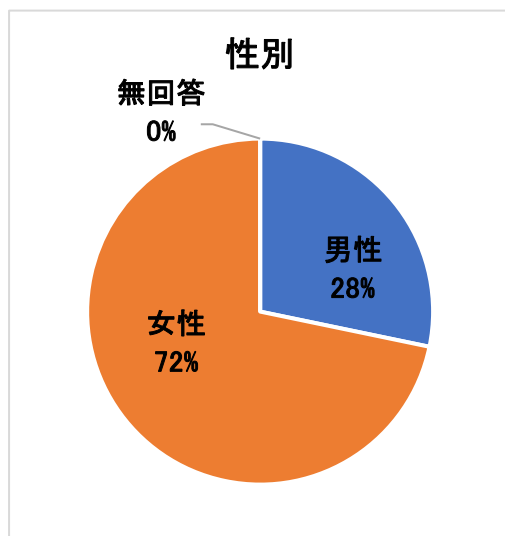
- ・基調講演の「満足」「やや満足」の項目が合わせて 94%と大変好評だった。パネルディスカッションも 90%ととても好評だった。
- ・パネルディスカッションにて、里親(委託中)、元里子に登壇いただきご自身の経験を

お話しいただいたことがとても好評だった。

- ・前年度のアンケートをもとに今回は託児室を設けた。6 名の利用があり、安心して聴講できたとの声をいただいた。

- ・パネルのほか、図書紹介を行い、幅広く里親子について周知することができた。

・第3回子どもリエゾンえひめフォーラム



(参加者の感想)

- ・先生の体験談を通して、子どもの状況や実際に抱える問題などが、よりよく分かりました。自分が里親になったときに何ができるかを、より深く考える機会になりました。
- ・里親について聞いたことはありましたが、何も知識がなかったので、全ての話が新鮮で、新しい知識を得ることができました。自分にも何かできないかを考えるきっかけになりました。
- ・大分県の仕組み、里親に対する動きや施設との連携について、とても分かりやすい講義でした。愛媛県でも、そのような取組をしていただけるといいと思います。
- ・対応された子どもさんの様子や言葉には、胸がしめつけられる思いがしました。そのような辛い思いをする子どもさんが一人でも減るように、里親として頑張りたいと思います。
- ・施設養育との対峙ではなく、役割を分担し、共同している様子は、松山市や愛媛県内でも取組が必要だと感じました。

(振り返り)

- ・基調講演の「満足」「やや満足」の項目が合わせて 94%と大変好評だった。トークセッションも 78%と概ね好評だった。
- ・オンライン配信と映像収録を兼ねて外部委託し、安定した配信をすることができた。
- ・活動の様子をパネルにし展示することで、広く周知することができた。

3. 課題

- ・集客に課題あり。里親になりたい方、若い世代へのアプローチが必要と感じた。

4. 今後の対応

- ・積極的な HP、SNS の活用。幅広く見てもらうための内容、デザインの検討。
- ・チラシ等の配布先検討、関係機関へのアプローチ。

以上

作成日:令和 7 年 2 月 28 日